

第76号

発行  
山辺地区社会福祉協議会  
事務局  
山辺公民館内 気付  
TEL(呼)0284(71)0516

すなおな心 (はい)      反省の心 (すみません)      謙虚な心 (おかげさま)  
奉仕の心 (私がします)      感謝の心 (ありがとう)      山辺地区日常五心



住民が協力し、交流しあつた文化祭  
模擬店・「社協屋」忙しくも楽しく

地区住民の日頃の芸能・芸術・手芸・クラブ活動等の発表の場であり、住民交流の場でもある地区文化祭が、今年も10月19、20日に開催された。各分野の参加団体数は減少傾向ではあつたが、日頃の皆さんの頑張りが見せや舞台で遺憾なく発表された。小学生や施設の方々作品もあ

り、福祉車での参観もあつて幅広い交流の場だった。当社協は従来通り二日目に来場の皆さんに向けて模擬店「社協屋」出店。前日から準備を進めたが当日は好天に恵まれて、忙しくも楽しく和やかに開店できた。

協力頂けたボランティアは、延べで前日準備に51名、当日は中学生も入り72名という多勢。特に育成連の若い力がヤキソバだけでなく、準備・片づけ等にも頑張ってくれて、高齢の地区社協役員部隊は大助かり。

皆さんの奉仕結果の利益も地区社協の諸福祉事業に役立たせて頂くことができ、心強い。直接尽力頂いた方々の他、食材や手芸品・バザー品等を寄附して頂いた地区内篤志の方々(下段に記載)、社協屋の品々をお買い上げ頂いたお客様の方々、又能登半島地震豪雨二重災害支援募金に協力頂いた方々、関係する全ての皆様に心から感謝申し上げます。

模擬店へ寄附御礼  
ありがとうございました。

- ・三田 敏夫様      お米
- ・新江 紀子様      お米
- ・篠 謙太郎様      お米
- ・遠藤 祐子様      お米・他
- ・仁木 明子様      じゃがいも
- ・橋本 静江様      じゃがいも
- ・清水 弘子様      じゃがいも
- ・吉住 知子様      じゃがいも
- ・山口 陽子様      じゃがいも
- ・吉田 一夫様      じゃがいも
- ・渡邊 勝雄様      じゃがいも
- ・樋口 茂延様      じゃがいも
- ・江田 博 様      じゃがいも
- ・石川 商店様      調理用ガス
- ・川崎 フミ様      手芸バザー品
- ・増田 晴美様      手芸バザー品
- ・堀越恵美子様      手芸バザー品
- ・田村 浩子様      手芸バザー品
- ・高瀬 雅子様      手芸バザー品
- ・北村 時子様      手芸バザー品
- ・速水とみ子様      手芸バザー品
- ・中村 徹 様      手芸バザー品
- ・中村 悦子様      手芸バザー品
- ・大関 守男様      手芸バザー品
- ・前原智恵子様      手芸バザー品
- ・山口 洋子様      手芸バザー品
- ・須藤 澄江様      手芸バザー品
- ・出嶋 光代様      手芸バザー品
- ・新井 明 様      手芸バザー品
- ・萩原恵美子様      手芸バザー品
- ・上岡 恵子様      手芸バザー品
- ・高橋 仁 様      手芸バザー品
- ・赤澤 友美様      手芸バザー品
- ・匿名希望七名様      手芸バザー品
- ・福居町匿名様      手芸バザー品
- ・山辺子育てサロン      手芸バザー品

# 敬老会

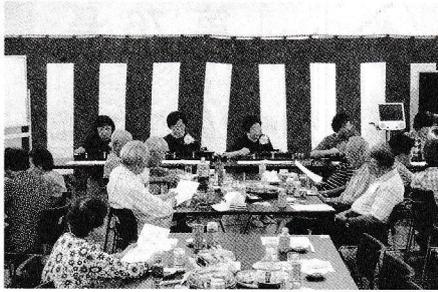
## 会食会合め多様な開催方法で

今年の敬老の日は9月16日。前後して各所で恒例の敬老会が開かれた。

対象を75才から80才以上にするために同一年代のみで5年間実施、本年漸く新年代が加わったの初回、市内全体で253か所、17,525名での開催。

市統計でみると高齢者の凡その人口動態がよくわかる。新たに80才になられた方が1,661名おられるのに全体では266名の増、ということは前年の名簿から1,435名抜けていること。(多死時代と揶揄されている。)

当山辺地区も傾向は同じで16名増の2,062名で、22町内17会場にて開催。



大正琴の演奏もあって和やかな西新井町の敬老会。

市の祝い金制度も変わり各町内の実施形態も変化、顔を合わせた敬老会食会は地区内6町で、他は記念品配布であった。

### 支え合い協議会

#### 多方面から参集、意見交換

高齢者の比率が増大するにつれて、その実態も多様化している。嘗て高度成長を成し遂げて来た世代は今や3割を超える高齢者となり、国の老齢施策、福祉施策が十分だとは言えない時代といえる。ましてや社会システムが自分達の生きて来たアナログ世界からデジタル、IT、SNS社会に進化して複雑・細分化されており、総体的な生き辛らさや阻害感を感じ、苦しむ人が結構いるようです。独居、認知症、貧困、資産管理、外出手段、諸相談事、等日常生活上の悩み事はつきません。

これらを自助と公助で解決しようとしても中々核心に届きません。ここに地域の共助力が加わると世界は大きく変わります。皆さんも身近な知人等と交流



準備した机が一杯になった。

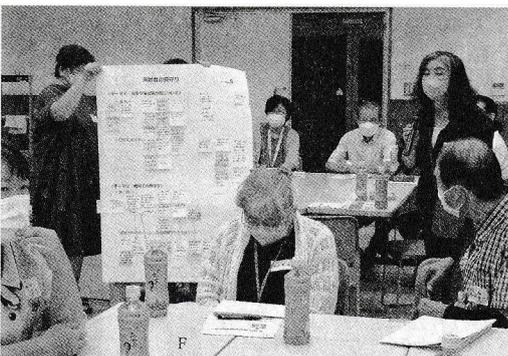


したり相談したりして日常生活の幅をひろげたり課題の解決に向けたりしていると思います。

地域には自治会、民児協、老人会、社協、育成会、PTA、交安協、各種ボランティア団体等がそれぞれタテワリの中でそれぞれに地域や住民生活の安心安全利便性の向上に向けて活動しています。

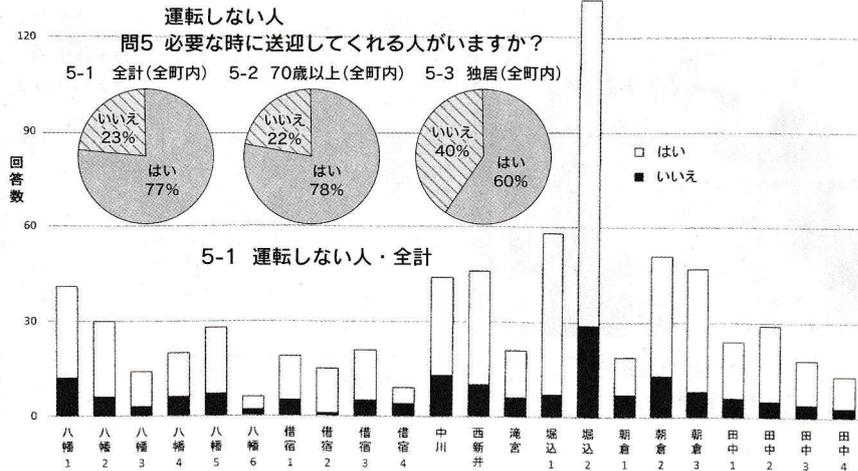
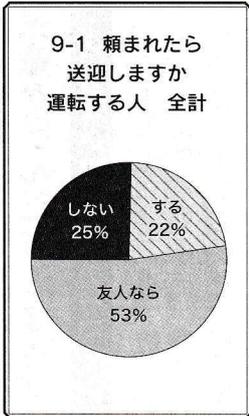
この共助力を連携・協働させたらその効力は倍加されていくのではないのでしょうか。

それを目的に、タテワリの組織間に横ぐしを刺して、横断的に包括的により大きな括りで関係者が集まって、地区の課題・お困り事を多方面から話し合っ



意見を貼って、グループ発表へ。

ていこう、というのが、「地区支え合い協議会」です。山辺地区では平成30年から元気高齢課と地区社協が中心となって活動が始まり、紆余曲折、コロナ禍での中断も経て、今年1月再開、少しずつ活動が定着しつつあります。各分野からの代表者が集まったの推進会議を月1回、広く地区内に呼びかけ人数でのブレインストーミング(BS)会を年1~2回、を目標にしています。7/18に「見守り」についてのBS会実施。10分野から76名の参加で活発に意見が出されました。それぞれの組織分野で生かせるものを取り込んでいく段階です。



外出手段アンケート報告②  
前号に続き参考となるデータに掲載する。



堀込1の皆さん

11月10日、11時と12時の2回に分けてアシコタウンへのツアーを実施、天候にも恵まれ暖かい一日でした。お世話役を含め24名の参加、皆さん大変喜ばれ、カインズで花を買ったりヨークで買物したりミスタードーナツに行ったりと、それぞれの思い

**買物ツアー**  
堀込2町内で仲間と出掛けるチャンス

10ページにまとめた報告内容は現在地区社協、自治会長、民協等に配布してデータ共有し、地区として何ができるのか検討していく準備に入っている。  
(報告書を読みたい方は公民館窓口へご連絡下さい。)



アシコタウン内を散策

で楽しまれ、毎月でも行きたいと言われる方もいました。午後の便はお昼時だったためカインズのフードコートで食事しても、もつと時間が欲しいの声も出ました。帰りのバスも和気あいあい、楽しい一日でした。(堀一宮沢) 堀二の買物ツアーは11月26日の午後、1時と2時半発の2班にて実施、乗り場は3ヶ所設定、参加者18名、お世話役6名の内容でした。お天気もまずまず、暖かい陽



堀込2の皆さん



気で皆さん余裕を持った行動がとれて、無事行って来れました。目的のお店を決めて来られた方も何人かおられたが、多くはカインズとヨークの日用品、食品の買物が主体でした。フードコートでの食事を楽しまれた方もいて、それぞれおしゃべり交流と共々満足のいく半日を過ごされたようです。



カインズフードコートで休憩中。

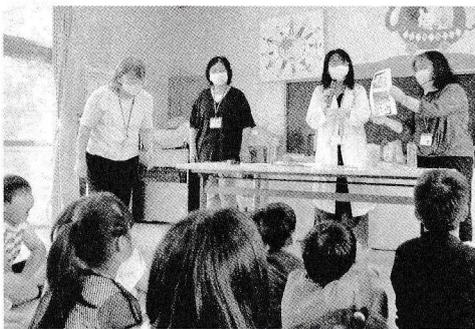
### 児童が学んだ身近な点字

——夏休み地域教育の一つ——

パラリンピックを控えた8月8日、小学生を対象に、身近なバリアフリーについて気付き考えるきっかけの会を、福祉教育事業の一環として主任児童委員が開いてくれた。

始めに伝言ゲーム。五感の一つを遮断したら何と伝える事が難しくなるか、手触りから何が解ることも体験する。子どもと一緒に大人も大騒ぎでゲームに興じた。

次にスタッフの演じる寸劇を通して、生活の中に沢山点字のある事を学んだ。「シャンプール」を間違えないようにしてある」「洗濯機の操作部も見てみ



機知に富んだスタッフの表示説明に、子どもたちの視線は釘付けに。

よう」「缶飲料にもある」。そして次々と示される街中の点字例のパネルを見ながら、子どもたちは気付いていつてくれた。

あいの会で活動するメンバーもいて、この講座は夏休み中の子どもたちに、小さくても確かな種を撒いてくれた。是非継続企画を望みます。

### ハロウィンパーティーも

子育てサロンで



スタッフも仮装してハロウィンパーティーに参加。

山辺子育てサロンスタッフの企画はとても良い。子どもたちが喜ぶものやママの勉強になるものもゲーム仕立てにして楽しめるものもあり。9月お祭り遊び、10月ハロウィンショー、11月防災サバイバルクイズ等、1回では勿体なく、場を替え

て繰り返し演出してほしいと思います。

### 地区の学校を巡って歩いた ふれあいハイキング



少子化の進展で小中学校の統廃合が現実化しつつあるが、この山辺中学校区内の小中校を巡ってその来し方を振り返り、周辺の風景の移り変わりと共に時代の変遷を感じ取るうこの企画。

11月24日、21名の参加で公民館を発着基点として、山辺中、矢場川中跡地、矢場川小、山辺小、南小を巡る。

自分の子ども時代の思い出を辿り、更に、今通う孫が自分の年になる時代はどんなだろうとの思いも馳せた過去未来タイムスリップウォーキングだった。



途中八幡宮参拝、ここで昼食休憩。ラスト南小へ。

### 時の断想

#### 漫画で大人になったのだ

小学生の頃、運動会も遠足も年2回だった。

三年生からはバス遠足もあったが、市内の山をめざしてひたすら歩く遠足もあった。飽きる誰かが歌い出すのはアニメの主題歌だ。

バス遠足ではなぜか流行歌、漫画の歌が禁じられており、山の時は疲れを忘れて思いっきり歌った思い出がある。

物心ついた時からテレビが生活の一部だった。月曜日には「ちよっとだけヨ」を真似するお調子者も居た。ジョーと力石の打ち合いの真似もあった。

野球やテニス、フランス革命や源氏物語も入口は漫画やアニメだった。

小中生の登下校の見守りを兼ねて外の掃除を心掛けている。そしてふと気付いた。

私って「レレレのおばさん」じゃないか!?

八幡まる子

